

## 広島県告示第 1142 号

瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和 48 年法律第 110 号）第 5 条第 1 項の規定による特定施設の設置許可の申請があったので、同条第 4 項の規定によって、その概要を次のとおり告示する。

平成 23 年 12 月 26 日

広島県知事 湯 崎 英 彦

### 1 申請者の住所及び氏名並びに工場又は事業場の所在地及び名称

申請者の住所及び氏名	東京都新宿区市谷加賀町 1 丁目 1 番 1 号 株式会社 DNP プレシジョンデバイス 代表取締役 和田 正彦
工場又は事業場の所在地及び名称	三原市沼田西町小原 73 番地の 1 株式会社 DNP プレシジョンデバイス 三原工場

### 2 申請の内容

53 イ ガラス又はガラス製品の製造業の用に供する研磨洗浄施設 3 基, 53 ロ ガラス又はガラス製品の製造業の用に供する廃ガス洗浄施設 2 基, 63 ホ 金属製品製造業又は機械器具製造業の用に供する廃ガス洗浄施設 1 基及び 65 酸又はアルカリによる表面処理施設 6 基を新設する。また、排水処理施設 6 基の使用の方法を変更する。

(1) 特定施設の種類、能力及び使用の方法

(その1) 新設

種 類		53 イ ガラス又はガラス製品の製造業の用に供する研磨洗浄施設 (研磨機 1号)		53 イ ガラス又はガラス製品の製造業の用に供する研磨洗浄施設 (研磨機 2号)		
能 力		再生基板 170 枚/日		再生基板 170 枚/日		
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	許可後直ちに		許可後直ちに		
	工 事 完 成 予 定 年 月 日	着手日の2か月後		着手日の2か月後		
	使 用 開 始 予 定 年 月 日	完成後直ちに		完成後直ちに		
使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		9時間連続 (なし)		9時間連続 (なし)		
使 用 方 法	項 目		通 常	最 大	通 常	最 大
	排 出 さ れ る 汚 水 等 の 状 態	水素イオン濃度 (単位:水素指数)	6~8	6~8	6~8	6~8
		生物化学的酸素要求量	10	20	10	20
		化学的酸素要求量	15	20	15	20
		浮遊物質量	20	30	20	30
		窒素含有量	4	5	4	5
		磷含有量	0.08	1	0.08	1
	溶解性鉄含有量	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m <sup>3</sup> )		0.8	0.8	0.8	0.8	
汚 水 等 の 排 出 先		総合排水処理施設 凝集沈殿処理装置		総合排水処理施設 凝集沈殿処理装置		

(その2) 新設

種 類		53 イ ガラス又はガラス製品の製造業の用に供する研磨洗浄施設 (研磨機 3号)			
能 力		再生基板 170 枚/日			
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	許可後直ちに			
	工 事 完 成 予 定 年 月 日	着手日の2か月後			
	使 用 開 始 予 定 年 月 日	完成後直ちに			
使 用 方 法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		9時間連続 (なし)		
	項 目		通 常	最 大	
	排 出 さ れ る 汚 水 等 の 状 態	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)		6 ~ 8	6 ~ 8
		生物学的酸素要求量		10	20
		化学的酸素要求量		15	20
		浮遊物質 量		20	30
		窒素含有量		4	5
		リン含有量		0.08	1
	溶解性鉄含有量		<0.05	<0.05	
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m <sup>3</sup> )		0.8	0.8	
汚 水 等 の 排 出 先		総合排水処理施設 凝集沈殿処理装置			

(その3) 新設

種	類	53 ロ ガラス又はガラス製品の製造業の用に供する廃ガス洗浄施設 (酸スクラバー (LSPM-SC-1))		53 ロ ガラス又はガラス製品の製造業の用に供する廃ガス洗浄施設 (アルカリススクラバー (LSPM-SC-2))			
能	力	排気処理能力 7,390 m <sup>3</sup> /時		排気処理能力 22,620 m <sup>3</sup> /時			
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに		許可後直ちに			
	工事完成予定年月日	着手日の2か月後		着手日の2か月後			
	使用開始予定年月日	完成後直ちに		完成後直ちに			
使用の方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		24時間連続 (なし)		24時間連続 (なし)		
	項 目		通常	最大	通常	最大	
	排出される汚水等	水素イオン濃度 (単位:水素指数)		5~6	5~6	8~10	8~10
		(単位: mg/L)	生物学的酸素要求量	10	10	10	10
			化学的酸素要求量	10	10	10	10
			浮遊物質	5	10	5	10
			窒素含有量	2	3	1	1.2
	リン含有量	0.3	0.5	0.5	1.0		
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m <sup>3</sup> )		5	7	8	10		
汚水等の排出先		総合排水処理施設 凝集沈殿処理装置		総合排水処理施設 凝集浮上処理装置			

(その4) 新設

種 類		63 ホ 金属製品製造業又は機械器具製造業の用に供する廃ガス洗浄施設 (酸スクラバー (CF-5))			
能 力		排気処理能力 15,000 m <sup>3</sup> /時			
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	許可後直ちに			
	工 事 完 成 予 定 年 月 日	着手日の2か月後			
	使 用 開 始 予 定 年 月 日	完成後直ちに			
使 用 の 方 法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		24時間連続 (なし)		
	項 目		通 常	最 大	
	排 出 さ れ る 汚 水	水素イオン濃度 (単位:水素指数)		6~8	6~8
		(単位: mg/L)	生物学的酸素要求量	1	2
			化学的酸素要求量	1	2
			浮遊物質	5	10
			窒素含有量	2	3
	リン含有量	0.3	0.5		
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位:m <sup>3</sup> )		15	25		
汚 水 等 の 排 出 先		C系排水処理施設2			

(その5) 新設

種 類		65 酸又はアルカリによる表面処理施設 (プロセッサ)							
能 力		大型フォトマスク 24 枚/日							
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	許可後直ちに							
	工 事 完 成 予 定 年 月 日	着手日の2か月後							
	使 用 開 始 予 定 年 月 日	完成後直ちに							
使 用 の 方 法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		24時間連続 (なし)						
	項 目		現 像		エッチング		剥 膜		
			通 常	最 大	通 常	最 大	通 常	最 大	
	排 出 さ れ る 汚 水 等 の 状 態	水素イオン濃度 (単位:水素指数)		6~7	6~7	6~7	6~7	11~13	11~13
		(単位: mg/L)	生物化学的酸素要求量	2	2	2	2	1	5
			化学的酸素要求量	1	1	1	1	1	5
			浮遊物質質量	2	2	2	2	5	10
			窒素含有量	0.5	0.5	0.5	0.5	1	3
	燐含有量	0.05	0.05	0.05	0.05	0.3	0.5		
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位:m³)		6.8	7.8	6.798	7.818	6.8	7.8	
汚 水 等 の 排 出 先		総合排水処理施設 凝集沈殿処理装置		総合排水処理施設 凝集沈殿処理装置		総合排水処理施設 凝集浮上処理装置			

(その6) 新設

種 類		65 酸又はアルカリによる表面処理施設 (出荷洗浄機)		65 酸又はアルカリによる表面処理施設 (ガラス現像装置)			
能 力		大型フォトマスク 24枚/日		ソーダガラス 10枚/日			
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	許可後直ちに		許可後直ちに			
	工 事 完 成 予 定 年 月 日	着手日の2か月後		着手日の2か月後			
	使 用 開 始 予 定 年 月 日	完成後直ちに		完成後直ちに			
使 用 の 方 法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		24時間連続 (なし)		24時間連続 (なし)		
	項 目		通 常	最 大	通 常	最 大	
	排 出 さ れ る 汚 水 等 の 状 態	水素イオン濃度 (単位:水素指数)		6~7	6~7	4.8	4.8
		生物学的酸素要求量		2	2	9.3	9.3
		化学的酸素要求量		1	1	7.3	7.3
		浮遊物質質量		2	2	24	24
		窒素含有量		16.2	16.2	2.8	2.8
	リン含有量		1.5	1.5	0.1	0.1	
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位:m <sup>3</sup> )		49	56	0.002	0.002		
汚 水 等 の 排 出 先		総合排水処理施設 凝集浮上処理装置		総合排水処理施設 凝集沈殿処理装置			

(その7) 新設

種 類		65 酸又はアルカリによる表面処理施設 (フィルム現像装置)		65 酸又はアルカリによる表面処理施設 (LSPM 酸洗浄装置)				
能 力		PET フィルム 10 枚/日		フォトマスク 12 枚/日				
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	許可後直ちに		許可後直ちに				
	工 事 完 成 予 定 年 月 日	着手日の2か月後		着手日の2か月後				
	使 用 開 始 予 定 年 月 日	完成後直ちに		完成後直ちに				
使 用 の 方 法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		24 時間連続 (なし)		24 時間連続 (なし)			
	項 目		通 常	最 大	通 常	最 大		
	排 出 さ れ る 汚 水 の 状 態	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)		4.3~12.3	4.3~12.3	6~8	6~8	
		(単位: mg/L)	生物学的酸素要求量		21,000	21,000	2	2
			化学的酸素要求量		21,000	21,000	2	5
			浮遊物質 量		200	200	2	2
			窒素含有量		2,400	2,400	1	1
			リン含有量		3.5	3.5	0.05	0.05
	溶解性鉄含有量		—	—	<0.05	<0.05		
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m <sup>3</sup> )		0.0002	0.0002	2.7	6.48			
汚 水 等 の 排 出 先		廃水回収タンク 業者引き取り処分		総合排水処理施設 凝集沈殿処理装置				



(その8) 新設

種	類	65 酸又はアルカリによる表面処理施設 (パターン除去装置)				
能	力	フォトマスク 8枚/日				
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに				
	工事完成予定年月日	着手日の2か月後				
	使用開始予定年月日	完成後直ちに				
使用の方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)	24時間連続 (なし)				
	項 目	エッチング		剥 離		
		通 常	最 大	通 常	最 大	
	排出される汚水等 の状態	水素イオン濃度 (単位:水素指数)	1~3	1~3	6~9	6~9
		生物化学的酸素要求量	2	2	8	11
		化学的酸素要求量	10	10	8	10
		浮遊物質質量	10	10	10	10
		窒素含有量	40	50	6	10
		燐含有量	0.1	0.1	0.06	0.1
	溶解性鉄含有量	—	—	<0.05	<0.05	
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m <sup>3</sup> )	1.1	1.2	1.1	1.2		
汚水等の排出先	総合排水処理施設 凝集沈殿処理装置		総合排水処理施設 凝集浮上処理装置			

(2) 汚水等の処理の方法

(その1) 変更

			変 更 前				変 更 後			
種 類			総合排水処理施設 凝集浮上処理装置							
工期等	工事着手予定年月日		既設				許可後直ちに			
	工事完成予定年月日						着手日の2か月後			
	使用開始予定年月日						完成後直ちに			
使用 の 方 法	汚水等の汚染状況 処理前処理後の	項 目	処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後	
			通 常	最 大	通 常	最 大	通 常	最 大	通 常	最 大
		化学的酸素要求量	175.39	175.39	60	60	166.66	166.68	60	60
		窒素含有量	12.56	12.56	12.56	12.56	12.56	12.58	12.56	12.58
	磷含有量	1.26	1.26	1.26	1.26	1.26	1.27	1.26	1.27	
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m <sup>3</sup> )		1,221.5	1,337.5	1,221.5	1,337.5	1,286.4	1,412.5	1,286.4	1,412.5

(その2) 変更

			変 更 前				変 更 後			
種 類			総合排水処理施設 凝集沈殿処理装置							
工期等	工事着手予定年月日		既設				許可後直ちに			
	工事完成予定年月日						着手日の2か月後			
	使用開始予定年月日						完成後直ちに			

使用の方法	汚水等の汚染状況 処理前処理後の	項目	処理前		処理後		処理前		処理後		
			通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	
使用の方法	汚水等の汚染状況 処理前処理後の	化学的酸素要求量	(単位： mg/L)	19.68	20.11	16	16	20.00	20.42	16	16
		窒素含有量		5.14	6.36	5.14	6.36	5.23	6.46	5.23	6.46
		リン含有量		1.62	1.81	1.62	1.81	1.64	1.82	1.64	1.82
		排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m <sup>3</sup> )		4,678	5,265	4,678	5,265	4,598.1	5165	4,598.1	5165

(その3) 変更

			変更前				変更後				
種類			総合排水処理施設 生物処理装置								
工期等	工事着手予定年月日		既設				許可後直ちに				
	工事完成予定年月日						着手日の2か月後				
	使用開始予定年月日						完成後直ちに				
使用の方法	汚水等の汚染状況 処理前処理後の	項目	処理前		処理後		処理前		処理後		
			通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	
		化学的酸素要求量	(単位： mg/L)	24.98	24.98	13	16	25.48	25.48	13	16
		窒素含有量		7.5	9.44	7.5	9.44	7.66	9.59	7.5	9.44
リン含有量	1.63	1.9		1.4	1.63	1.64	1.91	1.4	1.63		
使用の方法	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m <sup>3</sup> )		6,049.5	6,752.5	6,049.5	6,752.5	6,034.5	6,727.5	6,034.5	6,727.5	

(その4) 変更

		変 更 前				変 更 後				
種 類		総合排水処理施設 濾過活性炭処理装置								
工期等	工事着手予定年月日	既設				許可後直ちに				
	工事完成予定年月日					着手日の2か月後				
	使用開始予定年月日					完成後直ちに				
使用の方法	項 目		処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後	
	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m <sup>3</sup> )		6,049.5	6,752.5	6,049.5	6,752.5	6,034.5	6,727.5	6,034.5	6,727.5

(その5) 変更

		変 更 前				変 更 後					
種 類		C系排水処理施設2 凝集沈殿処理装置									
工期等	工事着手予定年月日	既設				許可後直ちに					
	工事完成予定年月日					着手日の2か月後					
	使用開始予定年月日					完成後直ちに					
使用の方法	汚水等の汚染状況 処理前処理後の	項 目		処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後	
		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
		化学的酸素要求量	(単位：mg/L)	211.49	234.94	60	80	210.68	234.04	60	80
	窒素含有量		13.95	31.81	13.1	30.5	13.9	31.7	13.1	30.5	
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m <sup>3</sup> )		3,877	4,325	3,877	4,325	3,892	4,350	3,892	4,350	

(その6) 変更

		変 更 前				変 更 後			
種 類		C系排水処理施設2 生物濾過活性炭処理装置							
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	既設				許可後直ちに			
	工 事 完 成 予 定 年 月 日					着手日の2か月後			
	使 用 開 始 予 定 年 月 日					完成後直ちに			
使 用 の 方 法	項 目	処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後	
		通 常	最 大	通 常	最 大	通 常	最 大	通 常	最 大
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m <sup>3</sup> )	3,877	4,325	3,877	4,325	3,892	4,350	3,892	4,350

- (3) 排出水の汚染状態  
変更なし

3 事前評価に関する事項を記載した書面の縦覧期間及び縦覧場所

(1) 縦覧期間

平成23年12月26日から平成24年1月16日まで

(2) 縦覧場所

広島県環境県民局環境保全課及び広島県東部厚生環境事務所環境管理課並びに三原市生活環境部環境政策課